

事務事業実績測定調書

R4調書番号 640

事務事業名称	給水装置審査確認業務										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	上水道管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	水道法及び同施行令、施行規則並びに枚方市水道事業給水条例及び同施行規程				
関係補助金名称		サンセット		～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	配水管より分岐して、給水を受ける市民・事業者など			
	サブターゲット	上記の配水管より分岐して、給水を受ける市民・事業者などの依頼を受ける指定店(枚方市指定給水装置工事事業者)			
	ターゲットが抱える課題	サブターゲットである指定店の技術力により仕上がりや工期に差が出る。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	給水を受ける市民・事業者などが安心して枚方市指定給水装置工事事業者に任せられる状態。(窓口等により業者指導を行う)				
事業概要	<p>枚方市水道事業の給水について、給水装置工事及び給水条件に適した給水装置の適性を保持し安心して使用できるように給水装置の審査確認を行う。</p> <p>1)配水管より分岐して設ける給水装置が構造材質基準及び基準省令に適合し、適切に設計されているか審査する。</p> <p>2)審査後、設計通り適正に施工されたか検査する。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)						
		給水装置工事及び給水条件に適した給水装置の適性を保持し安心して使用できる。	配水管より分岐して設ける給水装置が構造材質基準及び基準省令に適合し、適切に設計されているか審査を行う。						
指標設定	指標説明	給水装置検査達成率 【算出式:検査件数÷給水装置竣工検査依頼件数×100】	給水装置竣工検査依頼件数						
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標						
	指標数値	単位	%	単位	件				
	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	3,500	3,500	3,500	3,500
達成度	100%				98%				

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	6.11
再任用	1.07
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	56,949	59,643	53,119		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	56,949	59,643	53,119		
物件費計	159	169	160	3,219	5.0%	
歳出計	57,108	59,812	53,279			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	237,184	186,971	229,210	173,183	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	237,184	186,971	229,210	173,183	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>各指定給水装置工事事業者に対し、本市における給水装置工事に伴う施工基準を示すことで、市民に対し給水に係る公平性・安全性を確保するとともに、適正に効率的な指導を行うことができた。</p> <p>設計審査件数 新設・・・1,477件 その他・・・1,680件 合計3,157件 工事検査件数 新設・・・1,616件 その他・・・1,823件 合計3,439件</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、指定給水装置工事事業者からの給水装置工事の申込において、水道法等の関係法規における基準に適合させるように審査・検査を行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 641

事務事業名称	水道管路等管理事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	上水道管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	安全でおいしい水の供給を安定的に受ける水道使用者			
	サブターゲット	水道施設埋設管等の情報を必要とする市民・事業者・市内部組織			
	ターゲットが抱える課題	水道管路の情報について、適正かつリアルタイムな情報を提供する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	水道管路用地の有効な資産活用を行い、適切な管理を行う必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	水道管路等の財産が適切に管理され、給水が円滑に行われている状態。				
事業概要	<p>安全・安心・安定した水を供給する為、[水道管路用地の管理][水道配管図の管理][道路・河川等占用継続申請][水道管路借地]の各事務事業を行う。</p> <p>1) 水道管路用地の適切な管理を行う。</p> <p>2) 市内全域の導・送・配・給水管情報を水道施設情報管理システムで管理し、工事等による経年変化を修正する。</p> <p>3) 許可期間満了の占用物件を各管理者(道路管理者等)に継続申請する。</p> <p>4) 水道管が埋設されている民有地等において土地所有者に対して借地料を支払い、借地の継続手続きを行う。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル			水道管路等の財産が適切に管理される。				許可期間満了の占用物件を各管理者(道路管理者等)に継続申請する。			
指標設定	指標説明		水道管占用等継続申請達成率 【算出式: 占用申請処理済件数 ÷ 新規占用申請件数 × 100】				占用申請処理済件数			
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		100	100	100	100	550	550	550	550
	実績		100	100	100		581	534	471	
達成度		100%				86%				
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②			水道施設情報管理システムが適正に整備されている。				市内全域の導・送・配・給水管情報を水道施設情報管理システムで管理し、工事等による経年変化を修正する。			
指標設定②	指標説明		経年変化修正(距離)のアップデート更新率 【算出式: システムの更新延長距離 / 他課からの更新延長距離 × 100】				当該年度 経年変化修正のデータ更新(距離)			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		100	100	100	100	18	18	18	18
	実績		100	100	100		18	18	16	
達成度		100%				89%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.00
再任用	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.35
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	27,921	23,357	18,142		
	会計年度任用職員	5,421	6,006	6,984		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	33,342	29,363	25,126		
	物件費計	11,865	11,689	11,747	12,104	97.1%
	歳出計	45,207	41,052	36,873		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	1,157	1,216	1,222	1,211	
	市債	0	0	0	0	
	その他	27,100	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	28,257	1,216	1,222	1,211	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	10,473	10,525	10,893	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>上下水道施設情報管理システムを使い、上下水道室各課からの引継ぎ図面の更新や、給水申請等による引込み情報の随時更新を行うなど、適正な維持管理を行った。また、各遊休施設について、公民連携プラットフォームへの掲載や各課への利用意向調査等を行い、有効活用に向けた検討を行った。</p> <p>水道配管図 導水管・送水管・配水管修正延長約16km 占用継続申請数 20件 有償賃借地件数 29件</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	上下水道施設情報管理システムによる適正な維持管理を行うとともに、遊休施設や既存施設の有効活用に取り組んでいく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 915

事務事業名称	上水道管理課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	上水道管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	職員及び連携を図る他部局			
	サブターゲット	自治事務を信託している市民			
	ターゲットが抱える課題	組織間の連携や課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	他部署とより良好で柔軟に対応できる相互関係となり、組織の機能を適正かつ効率的に発揮できる状態				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.71
再任用	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	19,458	20,428	15,876		
	会計年度任用職員	0	136	631		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	19,458	20,564	16,507		
物件費計	3,644	3,473	3,729	4,093	91.1%	
歳出計	23,102	24,037	20,236			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	3,644	3,473	3,729	4,093		

5. 総括的分析

総括的分析	所管事務に係る他部局との連絡調整、各種庶務事務の執行や公用車の維持管理を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、円滑な事務の執行に努めていく。